

# 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 兵機海運株式会社

上場取引所 大

コード番号 9362 URL <http://www.hyoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大東 洋治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 田中 康博

TEL 078-321-7131

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,408	△33.8	△24	—	△59	—	△84	—
21年3月期第2四半期	8,171	—	282	—	228	—	135	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△7.04	—
21年3月期第2四半期	11.25	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	10,874	1,625	14.9	136.13
21年3月期	10,405	1,637	15.7	137.13

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,625百万円 21年3月期 1,637百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の1株当たり配当金の予想額については未定であります。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	△18.6	90	△20.9	20	△21.5	0	—	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

「I.S.LINES S.A.」「K.S. LINES S.A.」  
新規 4社 (社名 「K.S.ROKKO LINES S.A.」「K.S.MAY ) 除外 1社 (社名 )  
A LINES S.A.」

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	12,240,000株	21年3月期	12,240,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	297,576株	21年3月期	297,157株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	11,942,605株	21年3月期第2四半期	12,031,919株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について修正しております。詳細は平成21年11月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- 上記予想は、本資料発表時点で入手可能な情報を前提に算出したものであり、将来の実績に影響を与える不確実な要因により実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済におきましては、昨秋のリーマンショックで世界的に深刻となった金融危機は終息に向い、経済的打撃も大きな峠を越え、企業の景況感は改善時期に入ったと考えられます。

しかしながら、消費は進まずまた、急速に進む円高や、雇用にも改善が見られず、設備の過剰感もあり、継続的な景気回復にはなお多くのハードルがあるものと見ております。

このような経営環境下におきまして、当社グループは「安全・迅速・信頼」をモットーに、積極的な事業展開をまいりました。

内航事業にありましては鉄鋼や建設等業界の落込みからくる取扱量の大幅減少といった非常に厳しい事態からは徐々に回復がみられますものの、予断を許さない状況にて推移いたしました。また、外航事業にありましては運賃単価の下落が激しく、運航採算において困難を極めた状況の中で効率性を重視した営業展開を進めてまいりましたが、厳しい状況が継続しております。

港運・倉庫事業にありましては、食品類の輸入取扱量に一定の回復がみられたものの、世界的不況の波を受け、大阪港における取扱量に陰りがみられたことなど、全体的には予断を許さない状況で推移いたしました。効率的営業に徹するとともに管理経費の圧縮等による効果が現れ、比較的堅調な結果を得ることができました。

兵機グループの業績は次の通りとなりました。

取扱量は主要貨物である鉄鋼等の落込みから1,746千トン（前年同期比792千トン減 68.8%）と大きく減少し、これに伴う売上高にありまして5,408百万円（前年同期比2,762百万円減 66.2%）と大幅な減収となりました。この様な状況下に対し、支払運賃等の見直しや一般管理費の大幅な圧縮など、船主共存と雇用確保を守りつつ厳しい状況に対処してまいりましたが、保有投資有価証券の評価損が発生したこともあり、当第2四半期連結累計期間の純損失は84百万円（前年同期比219百万円悪化）と大幅な損失を計上いたしました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期の財政状態は、総資産10,874百万円となり、前連結会計年度末と比較して469百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は2,893百万円となり、前連結会計年度末と比較して160百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金104百万円、短期貸付金75百万円、その他流動資産100百万円の増加等と、現金・預金85百万円、未収法人税等62百万円等の減少等であります。固定資産は7,981百万円となり、前連結会計年度末と比較して308百万円の増加となりました。これは主に新倉庫・本社事務所建設にかかわる建設仮勘定400百万円が増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は5,060百万円となり、前連結会計年度末と比較して316百万円の増加となりました。これは主に短期借入金179百万円、買掛金98百万円等が増加したことによるものであります。固定負債は4,188百万円となり、前連結会計年度末と比較して164百万円の増加となりました。これは主に長期借入金153百万円が増加したことによるものであります。

純資産の部は、1,625百万円となり、前連結会計年度末と比較して12百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金84百万円の減少と、その他有価証券評価差額金75百万円の増加によるものであります。

当第2四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には、971百万円となりました。

なお、第2四半期における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は63百万円（前年同四半期は141百万円の支出）となりました。

主な内訳は、売上債権の減少104百万円、減価償却費157百万円等に対して、税金等調整前四半期純損失87百万円、仕入債務の減少123百万円等によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は481百万円（前年同四半期は1,012百万円の使用）となりました。

これは、主に固定資産の取得による支出400百万円（新倉庫・本社建設にかかわる建設仮勘定）、長期貸付金の実行による支出108百万円等があったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は332百万円（前年同四半期は1,138百万円の獲得）となりました。

これは、短期借入の増加180百万円、長期借入金の増加400百万円に対して、長期借入の返済247百万円等があったことによるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成21年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正の詳細については、平成21年11月2日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社である新大同海運株式会社は清算手続き中であります。また、当第2四半期連結会計期間において新大同海運株式会社の所有する船舶所有子会社4社の株式を取得し、連結子会社としております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

固定資産はの減価償却の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分しております。

##### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 . 四半期連結財務諸表  
 ( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 百万円 )

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	971	1,057
受取手形及び売掛金	1,506	1,401
原材料及び貯蔵品	35	31
その他	384	246
貸倒引当金	5	5
流動資産合計	2,893	2,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	2,029	2,029
減価償却累計額	1,258	1,235
建物及び建物付属設備 (純額)	771	794
船舶	4,170	4,170
減価償却累計額	1,015	889
船舶 (純額)	3,155	3,281
土地	1,623	1,623
その他	334	330
減価償却累計額	290	282
その他 (純額)	43	48
建設仮勘定	500	100
有形固定資産合計	6,094	5,847
無形固定資産		
その他	23	23
無形固定資産合計	23	23
投資その他の資産		
投資有価証券	1,161	1,050
その他	706	756
貸倒引当金	4	4
投資その他の資産合計	1,863	1,801
固定資産合計	7,981	7,673
資産合計	10,874	10,405

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,078	955
短期借入金	3,907	3,713
未払法人税等	3	-
賞与引当金	3	3
その他	82	72
流動負債合計	5,075	4,744
固定負債		
長期借入金	3,597	3,458
退職給付引当金	249	258
債務保証損失引当金	143	143
船舶修繕引当金	71	58
その他	112	104
固定負債合計	4,173	4,023
負債合計	9,249	8,767
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	880	964
自己株式	75	75
株主資本合計	1,450	1,534
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	224	149
繰延ヘッジ損益	49	46
評価・換算差額等合計	175	102
純資産合計	1,625	1,637
負債純資産合計	10,874	10,405

( 2 ) 四半期連結損益計算書  
 ( 第 2 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	8,171	5,408
売上原価	7,021	4,752
売上総利益	1,150	656
販売費及び一般管理費	868	681
営業利益又は営業損失 ( )	282	24
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	18	16
持分法による投資利益	8	12
不動産賃貸料	12	-
その他	2	6
営業外収益合計	49	42
営業外費用		
支払利息	62	68
債務保証損失引当金繰入	21	-
その他	18	9
営業外費用合計	102	77
経常利益又は経常損失 ( )	228	59
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
貸倒損失	1	-
投資有価証券評価損	21	27
投資有価証券売却損	-	0
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	0	0
特別損失合計	23	28
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ( )	205	87
法人税等	70	3
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	135	84

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	205	87
減価償却費	173	157
貸倒引当金の増減額( は減少)	3	0
有形固定資産売却損益( は益)	0	-
有形固定資産除却損	0	0
持分法による投資損益( は益)	8	12
退職給付引当金の増減額( は減少)	24	9
債務保証損失引当金の増減額( は減少)	21	-
修繕引当金の増減額( は減少)	20	12
受取利息及び受取配当金	25	23
支払利息	62	68
その他の営業外収益	15	-
その他の営業外費用	21	-
投資有価証券評価損益( は益)	21	27
売上債権の増減額( は増加)	92	104
たな卸資産の増減額( は増加)	22	4
仕入債務の増減額( は減少)	43	123
為替差損益( は益)	0	0
その他	2	109
小計	386	38
利息及び配当金の受取額	29	24
利息の支払額	64	71
債務保証履行による支出	365	-
その他の営業外損益( は益)	0	-
法人税等の支払額	126	65
その他	-	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	141	63
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	22	5
投資有価証券の売却による収入	-	2
有形固定資産の取得による支出	1,008	404
有形固定資産の売却による収入	0	-
短期貸付金の増減額( は増加)	-	29
長期貸付けによる支出	11	108
長期貸付金の回収による収入	29	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,012	481



(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,360	180
長期借入れによる収入	200	400
長期借入金の返済による支出	270	247
自己株式の取得による支出	53	0
配当金の支払額	97	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,138	332
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	15	85
現金及び現金同等物の期首残高	1,072	1,057
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,057	971

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	海運事業 (百万円)	港運・倉庫 事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,805	3,362	4	8,171	-	8,171
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	5	-	5	(5)	-
計	4,805	3,367	4	8,176	(5)	8,171
営業利益又は営業損失( )	247	35	0	282	-	282

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	海運事業 (百万円)	港運・倉庫 事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,710	2,694	4	5,408	-	5,408
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	0	-	0	(0)	-
計	2,710	2,694	4	5,408	(0)	5,408
営業利益又は営業損失( )	81	56	0	24	-	24

(注) 1. 事業の取り扱いの種類、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 海運事業.....内航海運、外航海運
- (2) 港運・倉庫事業.....港湾運送事業、倉庫事業
- (3) その他事業.....不動産賃貸、商事業務

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。